

会 議 名	第4回港区高校生世代の居場所づくりに関する検討委員会（高校生世代）
開 催 日 時	令和6年8月2日（金）13時00分～14時45分
開 催 場 所	港区役所 9階 911会議室及びオンライン(Teams)
委 員	（出席者：参集） 日本女子大学 匿名希望 私立広尾学園高等学校 福田 有佳 （出席者：オンライン） 都立雪谷高等学校 石橋 哲也 （欠席者） 私立広尾学園高等学校 遠山 夏町 私立広尾学園高等学校 廣實 真仁 私立大妻高等学校 松下 向日葵
事 務 局	子ども家庭支援部子ども若者支援課 特定非営利活動法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ
会 議 次 第	<開会> 1 高校生世代の居場所ビジョンのテーマについて 2 一人で過ごせる居場所づくり事業について 3 事務局からの連絡事項
配 付 資 料	資料1 高校生世代の居場所ビジョンのテーマについて
会議の結果及び主要な発言	
事務局	<開会> 1 高校生世代の居場所ビジョンのテーマについて 委員長と事務局で調整事項とされていたビジョンのテーマについて、2案に絞ったので、意見を聞きたい。 ① 高校生世代の誰もが自然体で安心できる居場所がある環境をめざす ② 高校生世代の誰もが安心できる居場所がある環境をめざす ①は「いつでも」に強要感があるという委員の意見を受けて、ご提案のあった「自然体で」に置き換えたもの。②は「いつでも」を削除しただけ。 「自然体」という言葉を入れるメリットは、注釈を入れ、議論されたことについて説明ができること、デメリットは注釈がないと分かりにくいこと。 行政では、シンプルな方が好まれるが、検討委員会の議論も表現したい。テーマについて何か意見はあるか。
委員B	「自然体」はアバウトな表現だが良いと思う。「いつでも」を無くすだけは、検討委員会で議論したことが表現されておらず、もったいないと感じる。
委員C	候補6の「時間」という言葉に惹かれた。自然体になれる時間とは自分で好きなようにカスタマイズできる時間。そこに「安心」も含まれる。「自分の時間をどう使うかを自分で決めることができる時間」が重要ではないか。
事務局	「安心できる」は削除でよいか。
委員C	「時間がもてる居場所」というイメージである。
事務局	2人の意見を参考にしつつ、次の有識者会議で引き続き議論をする。

2 一人で過ごせる居場所づくり事業について

ファシリテーター

それでは、一人で過ごせる居場所づくりについて検討したい。
(ファシリテーターより今までの議論の振り返り)

一人で過ごせる居場所にはどんな設備や機能あれば良いか。

まず、どのような人が使うのかという利用者イメージをつくりたい。4つの観点から検討していく。

- ①どんなものを見ているか、聞いているか
- ②どんなことをしているか、言っているか
- ③どんなことを考えているか、感じているか
- ④何が必要か、何を欲しているか

委員B

①他の人の視点から世界を見るのは難しいが、ヤングケアラーを想定として、いつも自分の服を自分以外の人が洗濯してくれている。という風に見えるのではないか。

②両親など上の世代の介護又は兄弟など下の世代の世話やお迎え。③は卒業後の進路についての悩み。気軽に相談できる場所があると良いと思う。さらに、慢性的に孤独を感じている子も多い。④1つ目にパソコン。学校の課題をパワーポイントで行うこともある。スマートフォンではやりにくい。それに付随してWi-Fi環境やコンセントも必須。また、2つ目に過干渉ではない相談相手。適切な距離を保った上で、自分が求めているときだけフラットに相談できる。3つ目に静かな寝室。家族関係が悪い、下の世代が癪癪持ちであるなど、勉強に集中できない、十分な睡眠が取れず健康に障害がでることもあるから。4つ目は食事。コンビニがあるため3食買うことは可能。しかし栄養バランスを考慮するとコンビニばかりは利用できないから。

ファシリテーター

家のことを自分でしている人や、デバイスの無い人もいるかもしれない。

委員A

①は学校にいてもいつも外を見ている。1人でいると無意識で外を見てしまう。②周囲が遊んでいても寝ている。③学校に馴染めない。自ら輪に入らないだけでも、周囲は避けられていると感じるケースはある④1人でいても心配されたくない。矛盾しているようだが、輪に入りたい気持ちもあるし、1人でいたい気持ちもある。

ファシリテーター

自分も1人で居ても、寂しい訳ではなく放っておいて欲しいときはある。心配されたくない気持ちは分かる。このような気持ちの人が、1人でいられる居場所を欲するのだろう。

委員C

学校をイメージした。周囲が友人と帰宅する様子を見て疎外感を感じている。また、ヤングケアラーの意見を聞いて思いついたが、親の代わりに家事をするヤングケアラーは自分の時間が取れずに、現実逃避で一人の時間を欲する。

また、勉強することができるが、勉強をしにくる場所ではない居場所が欲しい。自分は家にいると周囲から勉強していると思われてしまうと感じていた。それが嫌で学校に遅くまで残るか、図書館で勉強していたが、「図書館＝勉強」というイメージもあるため複雑な気持ちだった。

さらに、静かな場所も求められる。明るい子たちが集まり騒いでいると疎外感がある。1人でいても孤独とは思われたくないため、不自然なく1人でいられる居場所が欲しい。他にも、親と喧嘩して家や学校にいたくないとき、一時的にいられる場所もあると良い。

ファシリテーター

人物像として、委員Bは社会的にハードな環境にいると思われる人を想定し、より日常にいる人を想定しているのは委員Cや委員Aのようだ。

委員B

学校の図書館は閉まるのが早いので、21時頃まで勉強できる場所。また、心理的障壁を高くしないためにも、行政の手厚さは残しつつ行政感がない、「公共」というワードを全面に出さない居場所があると良い。

ファシリテーター

行政感のなさという考えは面白い。前回の会議で高校生世代委員が「居場所」と銘打ってない居場所という話をしていたことに通ずる。しかし、どのように周

	知するかが難しいと感じる。
委員A	ヤングケアラーは周囲に自分のことを伝えているのか。
委員B	そもそもヤングケアラーであると気づいていない子もいる。大人になってからではなく、中高生の段階で自覚してもらえるアクションが必要。自覚があっても周囲に言えない子もいると思う。
ファシリテーター	ヤングケアラーもいられる居場所が今後検討できると良い。委員Cは他に意見あるか。
委員C	パソコンのようなデバイスまで居場所の中で保障するのかと感じた。
ファシリテーター	色々な人が使える居場所が望ましいが、どれだけヤングケアラーに寄せた居場所にするかにより要件は変わる。
ファシリテーター	出来ることなら提供したい設備でも運用面での大変さも同時に考慮しなくてはならない。
事務局	人に「～だと思われたい」居場所であって欲しい。何をする居場所であるかは自分で決められる。人物像のレッテルを貼られることがないことが重要。そこに来ている、ということはこんな人だと、と思われることがないような居場所が良いという意見も参考になる。
ファシリテーター	続いて、施設の活動や要件について検討したい。 (ファシリテーターより説明)
委員A	活動について、1人でゲームができる、シャワーを浴びることができる、料理ができるなど、生活ができると良い。 要件は、目立たない場所にあること、中に受付がないまたはあったとしても簡単に済ませられることなど。また、1階にコンビニ、2階に施設があると周囲からは施設に行ってもコンビニに入ったようにしか見られないから良いのではないか。 その他は、場所を SNS で周知するのではなく、チラシを活用し本当に求めている人にだけ知ってもらいたい。
ファシリテーター	簡単に済ませられる受付とはどういう意図か。
委員A	受付で人と会話することをストレスに感じる人もいる。機械で整理券を配るような形でできると良い。
ファシリテーター	確かに受付での会話が利用の障壁になるかもしれない。また、活動の面で料理やシャワーをあげているのは、家に設備がない人を想定しているのか。
委員A	それもあるが、親と喧嘩して家を出たいが、行くところがない人も想定している。シンプルに一人でいたい人のためにも良いのでは。
ファシリテーター	治安の維持は大事なポイント。想定利用者ではない人にも届きすぎてしまうリスクがある。
委員B	委員Aの機械で受付は良いと思う。また、アレルギーがある子もいるので、完成した料理ではなく食材があると良い。自分が今想定している施設は「家」のようであること。 つまり、個室が多くありつつ、リビングのような共同スペースが欲しい。ただ共同スペースでは互いに干渉しないなどのルールが必要。このような場所であれば、個室で眠ることもできるし、24時間開いているキッチンで軽食が摂れたり、3食定時に食事ができる。 なお、セクシャルマイノリティー、トランスジェンダーや障害を持つ人を考慮し、トイレに配慮する必要がある。 さらに、入口が目立たないことも大切。看板がないと混乱が生じるため小さくシンプルなもの又はお店のようなものを設置する。その看板にも「港区支援センター」のように記載されていると入りにくい。 他にも、薬や生理用品は意外とお金がかかるため、それが貰えると安心感があって良い。施設の常駐者や LINE などでも相談できる環境も欲しい。その相談に対する返答も簡素なものではなく、しっかり中身を伴ったものである必要がある。

	また空室の確認や予約がデバイスで出来ると好ましい。最後に、治安を維持するためにも他人へ干渉しないなどルールを事前に伝える機会があると良い。
ファシリテーター	無いと困る要件ばかりで共感する。食事については家で食事ができない人を想定しているのか。
委員B	栄養をしっかり摂れることが思春期には重要と考える。
ファシリテーター	利用者の中にはもっとライトな層もいる。それらの人とは程度線引きをするか。
委員B	少し休みたい程度のライトな層にフォーカスすると、本当に支援を求めている人に届かなくなる可能性がある。非交流にフォーカスするのならしっかりサポートできる居場所であった方が良い。
委員C	個室では人数が制限されてしまう。多くの人に来てもらうためにも簡単に区切れるものを置いたほうが良いと思う。椅子に座る人、絨毯で寝転ぶ人、多くの人がいられると良い。
	それと職員からは干渉しないが、話しかけられたとき笑顔で対応するなど接しやすい雰囲気をつくって欲しい。ただし、勉強しているときなど職員が巡回していると気が散るので、伸び伸び過ごすためにも職員は決められたスペースからは出てほしくない。
	また、先ほど話に出したパソコンについて、今は学校から1人1台配布されているはず。それが無い人のためにも、1～2台は予約制で置いてあっても良い。施設に入るときに誰からも見られないことも重要。無料で学校帰りにフラッと立ち寄れる気軽さやWi-Fiも必要。相談しやすい職員がいることがいい。
ファシリテーター	全部が個室だと使える人数が限られてしまうという課題があるようだ。
委員B	必須ではないが、ストレス発散するために、叫ぶことやカラオケができるなど防音の部屋も欲しい。どこからものぞかれない、見られないカウンセラールームもあると良い。また、プライバシー保護のため偽名で入れるとより利用しやすい。
ファシリテーター	事前にアプリなどで予約できるようになっていれば、本名でも良いと思うか。
委員B	それであれば本名であっても良いかもしれない。行政が利用者の情報を得ることもできる。
委員A	偽名は賛成だが、デメリットもありそう。
委員C	三田図書館は、パソコンで空席確認や予約ができる。
	施設に、相談センターのチラシを置いてあると良い。相談しているところを人に見られるリスクを避けられる。自分は「みなと子ども相談ネット」を利用した際に、匿名でしっかり受け答えをしてもらえた。そういった相談先のお知らせを置いてほしい。
委員B	相談のポスターは、日常生活で目に付く場所にあると良い。
ファシリテーター	ここまでの、事務局が確認したいことはあるか。
事務局	どのような人に利用してもらうかという視点において、「より多くの人に」と考えると属性の選択ができず元気な子も来てしまうが、逆に必要な人に限って周知しようとすれば、必要の基準をつくり利用者を選ぶことになるから難しい。
	今出てきた意見は、今度の視察先が実際のイメージに近い。ただし、無料ではなく有料。利用者がお金を払うので、胸を張って利用できる。
	建物要件は未定だが、人に見られないことや、動線については、インテリアの行動誘導性が認められおり、視覚、触覚でコントロールできるかもしれない。
	安全性の個室の管理は多感な年代なので、どこまで許容して安全性と運用を実現するのか。
	一人でいる場所で名前を呼ばれる必要があるのか。匿名性は高くしたい。
委員C	委員Bに確認したいが、施設にあれば良い薬のイメージは。
委員B	医療機関の処方箋は医師の判断が必要なので、市販薬があれば良い。
事務局	ユースクリニックが必要という大人の意見もあるが、いかがか。
委員B	良いと思う。妊娠の相談はあるかもしれない。週1回でも予約制でも良い。

	精神科系の支援があれば更に良い。
委員C	居場所に相談できる人が来るのではなく、相談しても良いよ、という人が来るのはどうか。本気で相談したければ、多機関連携でつないでくれば良い。
	周知の際は、「相談機能がある」などのマイナスな面の人を受け入れているように書くのではなく、「一人でいられる場所」というマイナスなイメージを持たれない工夫をしてほしい。相談を大きく出さないバランス。相談しない子が利用しにくくなる。居場所以外の支援を全面に出してほしくない。
ファシリテーター	居場所で全部解決しなくて良い、きっかけとなる場所であれば良い。
委員B	熊本県にあるこうのとりのゆりかごという施設には、孤児を匿名で預かり、児童相談所等を経て里親へ繋ぐ機能がある。このように医療機関に繋いでくれる機能があってほしい。
事務局	ユースは、助産師、看護師。性のこと。お酒、タバコ。心と身体の問題は、相談しにくい。つなぎにくいかもしれない。詳しいことはオンラインでつながることも良いかも。
ファシリテーター	絞りこみや実現性は、大人の委員にバトンタッチ。それを踏まえて何かを考えよう。事務局から何かあるか。
事務局	他になにか提案あるか。実現可能性は置いといて、取組など。
委員B	麻布乳児院があるが、小さい子と関われるボランティアがあればいい。赤ちゃんに関わりたい。
事務局	家族留学という取組をしている NPO もある。
ファシリテーター	では、事務局に進行をお戻しする。
	3 事務局からの連絡
事務局	視察について、委員が運営している施設を見学させてもらう。およそ1時間半。詳細はメールで展開する。
	<閉会>